

## 令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(一般枠:過疎・中山間地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口 減少 対策	過 疎 中										
(相双地方振興局)													
1	継続 2	○		交流・ 関係人口	標葉祭り2026in大熊	一般社団法人浪江 青年会議所	ソフト	6,470	4,267	伝統文化の継承、故郷の魅力発信、新たな町づくりの形の発信を標葉祭りで行うことにより、地域の賑わい創出に寄与する。 場所:大熊町にて開催、「linkる大熊」や「CREVAおおくま」などの復興拠点の整備が進町の過去・現在・未来を発信	R8.4.1～R9.3.31	大熊町	
2	継続 2	○		交流・ 関係人口	「常磐もの×地酒」食体験魅力発信事業	浪江町収穫祭実行 委員会	ソフト	6,381	3,427	福島県浜通り地域の特産品である「常磐もの」の魚介類と日本酒を主軸とし、地域資源を活用した食体験ツアーを実施することで、地域経済の活性化・観光誘致・風評被害払拭を目指す。 ・1年目に構築した相双版「常磐もの体験ツアー」モデルを発展させ、海外市場への展開を開始する。 ・仙台空港の国際線を活用し、アジア圏のメディア及び飲食業関係者を招聘。併せて地元の生産者・事業者との意見交換と商談会を開催。 ・海外メディア及びインフルエンサーによる情報発信	R8.4.1～R8.12.31	浪江町	
3	継続 2	○		交流・ 関係人口	ふくしま魅力体験発信事業	一般社団法人まちづ くりなみえ	ソフト	6,595	4,153	浪江町及び福島県の移住者・観光客を増加させるための企画や体験プログラムを作成し、浪江町の復興拠点(情報発信・交流拠点)として位置づけられている道の駅なみえを主会場に以下の取組を実施し、地域間の交流を促進する。 ・ふくしまステーションキャンペーンへ向けて相双地域及び福島県への誘客コンテンツの育成。 ・福島県(浜、中、会津の特産品&グルメ)の魅力を高めるイベント、交流会の実施。	R8.4.20～R9.3.31	浪江町	
4	継続 2	○		交流・ 関係人口	花火大会を通じた広野町観光振興事業	広野町サマフェス実 行委員会	ソフト	13,750	4,950	町内外の来訪者を対象に花火大会を実施するとともに、町内の周遊パンフレットを作成、会場で配布し、町の魅力向上及び誘客促進に繋げる。令和8年度はDCの年でもあり、国外からの誘客効果が期待されるが、広野町内にはインバウンド向けのパンフレットがないため、花火大会の会場内での外国語版パンフレットの配布を行い、町内の観光地への周遊や飲食、宿泊への誘客に繋げる。 時期 令和8年8月 ・場所 二ツ沼総合公園	R8.4.1～R9.3.31	広野町	
5	新規	○		人 づ く り	相双から全国へ!ダンス教育で 生み出す関係人口プロジェクト	相馬ストリートダンス 協会	ソフト	7,500	4,851	ダンスを通じた合宿型のコンテンツと交流会により、子どもたちの健全育成と地元・相双を愛し次世代を担う人材育成を目指すプロジェクトを実施。 ・合宿型ダンス教育プログラム 時期:令和8年7月予定 場所:大熊町、双葉町、浪江町 ・子ども達の夢を高みにあげる舞台(発表の場) 時期:令和8年7月予定 場所:大熊町 ・子どもたちの夢を全力で応援するファンミーティング(地域の子どもと大人の懇談の場) 時期:令和8年7月予定 場所:大熊町、浪江町	R8.5.1～R8.12.31	浪江町、双葉町、大熊町	

## 令和8年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(一般枠:過疎・中山間地域)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針		個別テーマ	事業名	事業主体	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額 (案)	事業概要	実施時期	実施場所	備考
		重点											
		人口減少対策	過疎中										
6	新規		○	交流・関係人口	霊山寺礎石群のお宝発見	霊山寺跡の歴史と地域を考える会	ソフト	1,000	653	急速な過疎化に直面している副霊山地域において、市内外の住民で霊山寺跡の歴史的意義や価値について学び、調査、資料の収集などをして、その調査結果を広く公表し、地域の魅力や誇りを再発見する。そして、地域の価値を高め、逆転の発想で活性化、交流人口増加を図る。(住民に向けた講演会、意見交換会、現地調査、ドローンを駆使した調査とYouTubeでの発信、登山道の整備等)	R8.4.1～R9.3.31	相馬市	
7	新規	○		交流・関係人口	「福島もも娘」をキャラクターとして交流人口を創出する事業	交流人口創出協議会	ソフト	8,500	4,950	震災と高齢化により人口減少が深刻な相双地域において、「福島もも娘」をメインキャラクターとした取組を行い、台湾と福島の交流を活性化させることで、関係人口と交流人口の創出を目標とする。 ・地域内外交流(4月～10月) ・台湾における関係人口創出(6月) ・国際・世代間交流で地域住民の活力復活を目的としたイベントの開催(8月) ・台湾で「相双Month」を開催(11月～12月)	R8.4.1～R9.1.31	飯館村	
8	新規	○		交流・関係人口	なみフェス	なみフェス実行委員会	ソフト	4,931	2,209	有名アーティストによるステージショーを実施し、県内外からの来町を促す(昼の部)。また、ナイトシアターやイルミネーション、地元商店街と連携したビアガーデンなどを実施する夜の部も開催し、宿泊施設と連携した宿泊プランを立てることで、ファミリー層の誘客と町内での滞在を促す。 ・令和8年9月(予定) (昼の部)10:00～18:00 (夜の部)18:00～21:00	R8.4.1～R9.3.20	浪江町	
9	新規	○		交流・関係人口	∞芸術祭2026	∞芸術祭実行委員会	ソフト	9,000	4,950	清戸迫横穴など双葉地区の史跡、伝統文化をテーマにした藝術作品を制作、展覧する事業によって、地域が一体となった街づくりを推進する。2026年に開催される「ふくしまDC」では福島県全体をアートの舞台として、自然、食、歴史、伝統文化を発信する様々な企画が予定されているが、双葉地区では本企画に関わるアートが少ない状況である。そこで国際的に周知されている「福島ビエンナーレ」と関連し、双葉で芸術祭を新たに開催。国内外から「元気な福島県」を訪問してもらい、福島の文化を正しく理解してもらおう。 会期:令和8年8月21日～9月20日(予定)	R8.5.1～R9.3.1	双葉町	
10	新規	○		交流・関係人口	ただいま おかえり 双葉の夏	一般社団法人LOVE FOR NIPPON	ソフト	5,600	2,475	双葉町において再会の機会を創出し、住民・帰還者・町外支援者が継続的につながり続ける関係を育むため、以下の取組を実施。 令和8年8月29日(予定) ・帰町を祝う交流行事「ただいま おかえり 双葉の夏」実施 ・町内宿泊施設を活用し参加者の滞在環境を確保 令和8年8月30日(予定) ・地域の未来を語る公開対話プログラム(SOTEシンポジウム連携)	R8.7.1～R8.10.30	双葉町	
累計					(相双地方振興局)	10件		69,727	36,885				